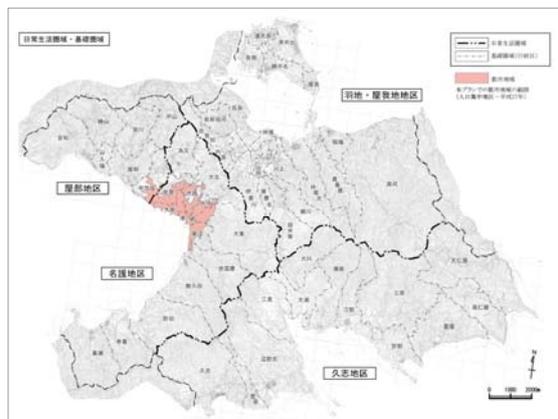


## 第5章 日常生活圏域別計画

### 1. 日常生活圏域の概要

本市の日常生活圏域は、『高齢者を支援するサービスを確保する単位とするとともに、地域資源や関係者の連携体制の充実強化を図る範囲』であり、今後身近な場での介護予防等の充実が求められていることから、以下の名護地区、屋部地区、羽地・屋我地地区、久志地区の4地区とした。



#### ■日常生活圏域（4地区）の概要

平成29年10月1日現在

	人口 対総人口比	高齢者人口 高齢化率 対地区人口比	高齢単身世帯率 対地区世帯比	要介護・要支援 認定率(65歳以上) 対地区65歳以上人口比	高齢者人口の 増加率 H25年との比較
名護	36,460人 58.2%	6,958人 19.1%	12.4%	16.7%	30.8%
屋部	11,273人 18.0%	1,749人 15.5%	10.0%	19.0%	43.7%
羽地・屋我地	10,528人 16.8%	3,120人 29.6%	20.9%	21.1%	18.5%
久志	4,430人 7.1%	1,139人 25.7%	15.9%	18.9%	10.4%

4つの日常生活圏域のうち、人口規模は名護地区が最も大きく36,460人と市全体の58.2%を占めており、市街地を有する名護地区の人口集積が顕著となっている。最も人口規模が小さい地区は久志地区で4,430人の7.1%となっている。

高齢化率の高い地区（対地区人口比）は、羽地・屋我地地区（29.6%）で地区のおよそ1/3が高齢者となっており、次いで久志地区が25.7%と高い。この2地区は高齢単身世帯も地区世帯の2割弱～2割程度を占めている。

平成25年からの推移をみると、総人口は名護地区で0.1%増であるのに対し、高齢者人口は30.8%増となっている。屋部地区では、総人口で12.8%増と4地区の中ではもっとも増加率が高くなっている。羽地・屋我地地区、久志地区はともに総人口が減少しているものの、高齢者人口は依然増加している。名護地区、屋部地区の高齢化率は2割程度と市域の中でもやや低い、高齢者人口は急増している。

## ■日常生活圏域別人口等の推移

各年10月1日現在

	平成25年			平成26年			平成27年			平成28年			平成29年		
	総人口	65歳以上人口	高齢化率												
名護	36,425	5,320	14.6%	36,333	6,122	16.8%	36,168	6,437	17.8%	36,324	6,719	18.5%	36,460	6,958	19.1%
屋部	9,990	1,217	12.2%	10,385	1,465	14.1%	10,555	1,540	14.6%	11,042	1,632	14.8%	11,273	1,749	15.5%
羽地・屋我地	10,766	2,633	24.5%	10,763	2,842	26.4%	10,789	2,952	27.4%	10,607	3,038	28.6%	10,528	3,120	29.6%
久志	4,620	1,032	22.3%	4,598	1,070	23.3%	4,568	1,083	23.7%	4,484	1,111	24.8%	4,430	1,139	25.7%
名護市	61,801	10,202	16.5%	62,079	11,499	18.5%	62,080	12,012	19.3%	62,457	12,500	20.0%	62,691	12,966	20.7%

	総人口H25と29年の比較				高齢者人口H25と29年の比較			
	H25年	H29年	増減数	増減率%	H25年	H29年	増減数	増減率%
名護	36,425	36,460	35	0.1	5,320	6,958	1,638	30.8
屋部	9,990	11,273	1,283	12.8	1,217	1,749	532	43.7
羽地・屋我地	10,766	10,528	-238	-2.2	2,633	3,120	487	18.5
久志	4,620	4,430	-190	-4.1	1,032	1,139	107	10.4
名護市	61,801	62,691	890	1.4	10,202	12,966	2,764	27.1

資料：住民基本台帳

名護市の地域的な特徴として計画の目標でも触れたように、都市地域（概ね人口集中地区）などでは宅地化が進み、一部の地域で人口が急増している。一方で地域での交流が少なくなっている高齢者もみられる。農村地域では人口の減少や高齢化が進んでおり、閉じこもりがちな高齢者もみられるが地域での交流や地域活動への参加は比較的ある。このような地域の特性を踏まえ、高齢者の自立生活を支える取り組みを進めていく必要がある。

## 2. 日常生活圏域別計画

### (1) 計画の構成

圏域別計画の構成は、現状編（人口、世帯、介護認定者数、地域社会の状況（社会資源マップを含む））と計画編とし、計画編は、本計画の方針（3本柱）に沿って、日常生活圏域もしくは基礎圏域（区単位）での実施を予定している施策について、各圏域の状況に応じて対応していく内容を示すこととする。

### (2) 日常生活圏域別計画

圏域別計画を次頁以降に示す。

# 1

## 名護地区

### ■現 状

#### ○地区人口（平成 29 年 10 月 1 日）

- ・総人口 36,460 人（対全市比 58.2%）
- ・年少人口 6,449 人（対地区人口比 17.7%）
- ・生産年齢人口 23,053 人（対地区人口比 63.2%）
- ・老年人口 6,958 人（対地区人口比 19.1%）
  - ・前期高齢者 3,640 人（対地区人口比 10.0%） 後期高齢者 3,318 人（対地区人口比 9.1%）

#### ○地区世帯数（平成 29 年 10 月 1 日）

- ・総世帯数 16,510 世帯（対全市比 56.9%）
- ・高齢単身世帯 2,039 世帯（対地区世帯比 12.4%）
- ・高齢者のみの世帯 1,165 世帯（対地区世帯比 7.1%） 高齢単身世帯のぞく
- ・高齢者のいる世帯 4,985 世帯（対地区世帯比 30.2%）

#### ○介護認定者数等（平成 29 年 10 月 1 日）

- ・介護認定者総数 1,198 人
- ・第 1 号被保険者数 1,161 人（地区の 65 歳以上人口（6,958 人）に占める割合 16.7%）
- ・第 2 号被保険者数 37 人（地区の 40～64 歳人口（11,820 人）に占める割合 0.3%）

#### ○地域社会の状況（平成 29 年 4 月 1 日）（社会資源について後頁資源マップ参照）

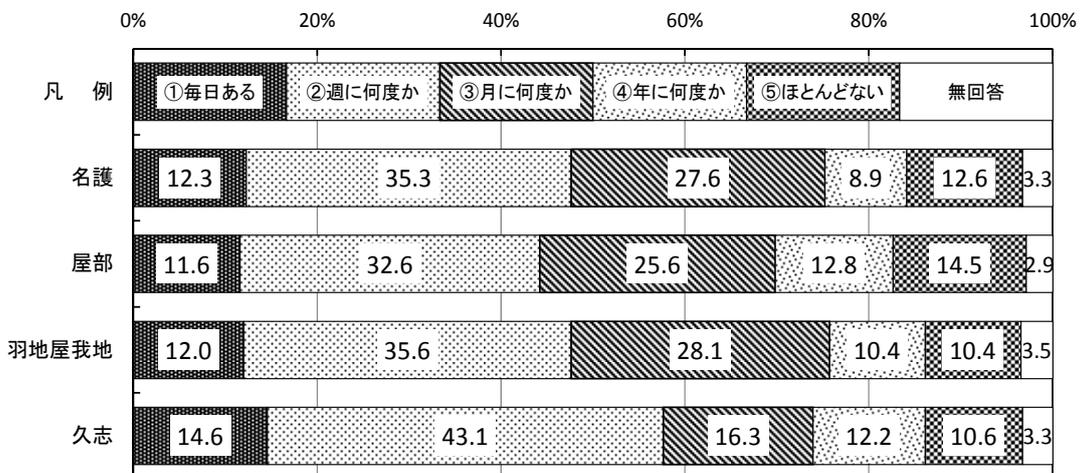
- ・区数 15 区
- ・区加入率 29.5%
- ・区福祉推進委員会設置数 15 箇所
- ・ミニデイサービス実施箇所数 15 箇所

#### ○地域の高齢者の実態（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果より）

※ニーズ調査対象者は、一般高齢者、要支援 1、2 の方

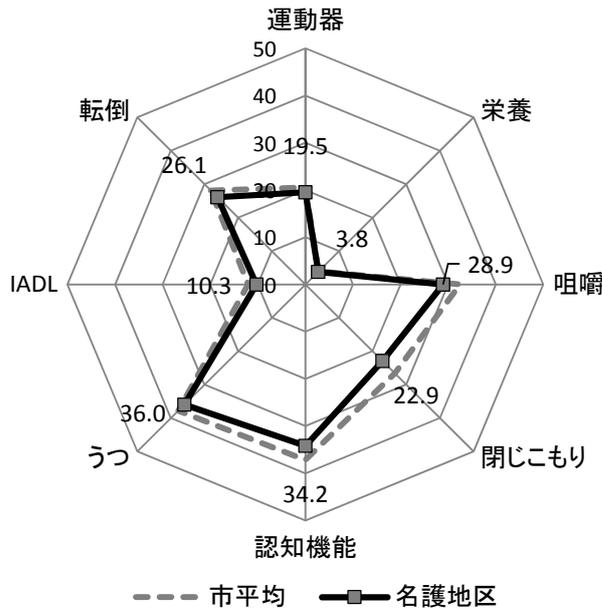
##### <友人知人と会う頻度について>

- ・47.6%が『週に何度か』（①毎日+②週に何度か）友人知人と会っている。
- 一方、21.5%が『会う頻度はわずか』（④年に何度か+⑤ほとんどない）と回答している。



<生活機能評価結果 領域別リスク者割合>

- ・介護予防事業が必要と思われるリスクの高い高齢者の割合は、すべての領域で市平均を下回っている。
- ・領域別にリスク者の割合をみると、うつ、認知機能で3割台と高く、次いで咀嚼、転倒が3割弱となっており、うつ対策や認知機能、咀嚼、転倒に関する取り組みや、全体的にリスク者の割合が上がらないよう健康づくりや引きこもり対策、介護予防活動が重要である。



領域	市平均	名護地区
運動器	20.5	19.5
栄養	3.9	3.8
咀嚼	32.5	28.9
閉じこもり	26.6	22.9
認知機能	37.2	34.2
うつ	37.8	36.0
IADL	12.0	10.3
転倒	28.1	26.1

<高齢者の社会との関わり等>

- ・高齢者の社会との関わりについては、老人クラブや自治会（区）への参加状況が市全体よりも若干低くなっている。他地区に比べ、既存の地域活動の参加率が低く、趣味関係のグループへの参加率が高い。そうした視点からのアプローチで介護予防活動等に取り組む必要がある。
- ・住まいについて、集合住宅や公営賃貸住宅へ居住する人の割合は17.7%となっており、4地区の中で最も高く、市全体（13.9%）よりも4ポイントほど上回っている。

■名護地区

(単位: %)

項目	市全体	名護
ボランティアのグループに参加している高齢者の割合	12.4	11.0
スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	18.7	18.3
趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	22.6	24.1
学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	7.6	7.4
老人クラブに参加している高齢者の割合	21.0	17.4
自治会に参加している高齢者の割合	15.5	11.7
地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	56.7	55.7
主観的健康観の高い高齢者の割合	69.0	70.1
主観的幸福観の高い高齢者の割合(8点以上)	44.6	44.4

## ■ 計 画

### ○高齢者人口等の将来推計（参考）

名護地区	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	2025(H37)
・人口	36,460	36,501	36,571	36,621	36,668
・65歳以上人口	6,958	7,184	7,437	7,624	8,511
・65～74歳人口	3,640	3,758	3,891	3,988	4,452
・75歳以上人口	3,318	3,426	3,546	3,636	4,059
・要介護(要支援)認定者	1,198	1,235	1,300	1,376	1,585

※将来推計は、平成29年の市に占める地区人口等の割合で算出。

### ○日常生活圏域等での取り組み内容

#### 1. 生き生き暮らす

- ①市民が継続的に健康づくり活動に取り組めるよう、区公民館等身近な地域での健康教室やスポーツ教室について、区等地域主体での開催を支援する。
- ②生きがい活動に取り組む住民等を市民に広く紹介し、地域のニーズに即した新しい取り組みの創出を促進する。
- ③いきいき百歳体操、高齢者体操教室、願寿教室等の予防事業をさらに普及し、身近な所での実施拡充を目指す。
- ④生活機能を改善するための運動器の機能向上や栄養改善等事業、口腔機能向上事業（短期集中予防サービス（通所型C））について、自立生活を支援するために、高齢者等のニーズを踏まえた取り組みを進める。

#### 2. 安心して暮らす

- ①圏域レベルでの認知症対策を推進するために、区公民館等での認知症予防教室の開催や区単位での認知症見守り体制の確保を図る。
- ②身近な地域で認知症予防等に関する普及啓発を図るために、区公民館等での認知症予防教室（もの忘れ予防教室等）を開催する。
- ③地域密着型サービスは、地域ニーズ等に応じて検討し、計画的に確保する。

#### 3. 共に支え合い暮らす

- ①相談、支援、関係者連携の拠点となる「在宅介護支援センター」の機能充実を進める。
- ②区福祉推進委員会を中心に区単位での支え合い体制の充実を図る。そのために、地域人材の育成・確保を進めるとともに、社会福祉協議会コーディネーターとの連携を強化するとともに、区未加入者との交流を促進する。
- ③個別支援の対応から地域課題の集約等を行う「地域ケア圏域別会議」の設置を進める。

■介護サービス事業所一覧（沖縄県内指定介護サービス事業所一覧（平成29年10月1日時点）県HP）

名護地区

地図番号	事業所住所	事業所名	地図番号	事業所住所	事業所名
1	福祉用具貸与	有限会社 沖縄介護サービス 名護支店	23	介護予防通所介護	デイサービスわらの里
	特定福祉用具販売	有限会社 沖縄介護サービス 名護支店	24	介護予防通所介護	デイサービスわらの丘
	介護予防福祉用具貸与	有限会社 沖縄介護サービス 名護支店		通所型サービス（独自）	デイサービスわらの丘
	特定介護予防福祉用具販売	有限会社 沖縄介護サービス 名護支店	通所介護	りゅうしん大東指定通所介護事業所	
2	介護予防通所介護	リハビリ特化型デイサービス カラダラボ名護為又	25	介護予防通所介護	りゅうしん大東指定通所介護事業所
	通所介護	リハビリ特化型デイサービス カラダラボ名護為又	通所型サービス（独自）	りゅうしん大東指定通所介護事業所	
3	訪問介護	たんぼぼ訪問介護サービス	26	福祉用具貸与	サトウ株式会社 名護営業所
	介護予防訪問介護	たんぼぼ訪問介護サービス		特定福祉用具販売	サトウ株式会社 名護営業所
通所介護	ケア付き宅老所 浅茅の里	介護予防福祉用具貸与		サトウ株式会社 名護営業所	
介護予防通所介護	ケア付き宅老所 浅茅の里	特定介護予防福祉用具販売		サトウ株式会社 名護営業所	
4	訪問介護	ヘルパーステーション 浅茅の里	27	介護予防支援	名護市地域包括支援センター
	介護予防訪問介護	ヘルパーステーション 浅茅の里	28	福祉用具貸与	有限会社 いやしの郷
	居宅介護支援	浅茅の里 居宅介護支援事業所		特定福祉用具販売	有限会社 いやしの郷
5	訪問介護	居宅介護サービス事業所 愛センター	介護予防福祉用具貸与	有限会社 いやしの郷	
	介護予防訪問介護	居宅介護サービス事業所 愛センター	特定介護予防福祉用具販売	有限会社 いやしの郷	
6	短期入所生活介護	名護厚生園 短期入所生活介護事業所	29	訪問看護	涼風訪問看護ステーション
	介護予防短期入所生活介護	名護厚生園 短期入所生活介護事業所		介護予防訪問看護	涼風訪問看護ステーション
7	居宅介護支援	名護厚生園指定居宅介護支援事業所	30	認知症対応型共同生活介護	グループホーム ひだまり
	訪問介護	名護厚生園指定訪問介護事業所	31	訪問介護	桃源の郷ヘルパーステーション
介護予防訪問介護	名護厚生園指定訪問介護事業所	介護予防訪問介護		桃源の郷ヘルパーステーション	
8	通所介護	デイサービス宙伸みやざと		居宅介護支援	桃源の郷居宅介護支援事業所
	福祉用具貸与	福祉用具販売貸与事業所 ちゅらいふ		通所介護	桃源の郷通所介護センター
9	特定福祉用具販売	福祉用具販売貸与事業所 ちゅらいふ		介護予防通所介護	桃源の郷通所介護センター
	介護予防福祉用具貸与	福祉用具販売貸与事業所 ちゅらいふ		福祉用具貸与	福祉用具桃源の郷
	特定介護予防福祉用具販売	福祉用具販売貸与事業所 ちゅらいふ		特定福祉用具販売	福祉用具桃源の郷
	居宅介護支援	ケアプランセンターほくざん	介護予防福祉用具貸与	福祉用具桃源の郷	
10	居宅介護支援	うりずん居宅介護支援事業所	特定介護予防福祉用具販売	福祉用具桃源の郷	
11	訪問介護	ヘルパーステーションあかがーら	介護予防訪問看護	訪問看護ステーション桃源の郷	
	介護予防訪問介護	ヘルパーステーションあかがーら	32	認知症対応型通所介護	認知症通所介護ひだまり
12	訪問型サービス（独自）	ヘルパーステーションあかがーら	33	介護予防通所介護	介護事業所 さくらの郷
13	通所介護	中央外科 通所介護事業所	34	訪問介護	あかりヘルパーステーション
	介護予防通所介護	中央外科 通所介護事業所		介護予防訪問介護	あかりヘルパーステーション
14	訪問介護	訪問介護日廻り	居宅介護支援	あかり居宅介護支援事業所	
	介護予防訪問介護	訪問介護日廻り	35	介護予防通所介護	デイサービス 海山郷
15	介護予防通所介護	らいうデイサービス	36	訪問看護	はびねず訪問看護ステーション
16	通所介護	かりゆしぬ村 デイサービス 大南	介護予防訪問看護	はびねず訪問看護ステーション	
	介護予防通所介護	かりゆしぬ村 デイサービス 大南	37	介護予防通所介護	デイサービスセンター ゆうゆう
17	訪問介護	ヘルパーステーションちゃ〜がんじゅう	38	訪問看護	結の里 訪問看護ステーション
	介護予防訪問介護	ヘルパーステーションちゃ〜がんじゅう		介護予防訪問看護	結の里 訪問看護ステーション
18	訪問介護	ヘルパーステーションゆいゆい	39	居宅介護支援	ちゅらケアプランセンター名護
	訪問型サービス（独自）	ヘルパーステーションゆいゆい		訪問看護	ちゅら訪問看護ステーション
訪問介護	訪問介護センター彩風の杜なご	介護予防訪問看護		ちゅら訪問看護ステーション	
19	介護予防訪問介護	訪問介護センター彩風の杜なご	40	介護予防通所介護	デイサービスCeePort
	訪問型サービス（独自）	訪問介護センター彩風の杜なご		訪問介護	ヘルパーステーション CeePort
20	介護予防通所介護	デイサービス六論		介護予防訪問介護	ヘルパーステーション CeePort
21	居宅介護支援	アップルライフ居宅介護支援事業所		訪問型サービス（独自）	ヘルパーステーション CeePort
	居宅介護支援	なまからどー居宅介護支援事業所	41	介護予防通所介護	デイサービス手水の園
22	介護予防通所介護	デイサービス なまからどー	通所型サービス（独自）	デイサービス手水の園	

# 名護地区社会資源マップ

## 凡 例

◆:市役所、支所

- 1. 名護市役所

★:地域包括支援センター、在宅介護支援センター

- 1. 名護市地域包括支援センター

■:生涯学習・スポーツ施設

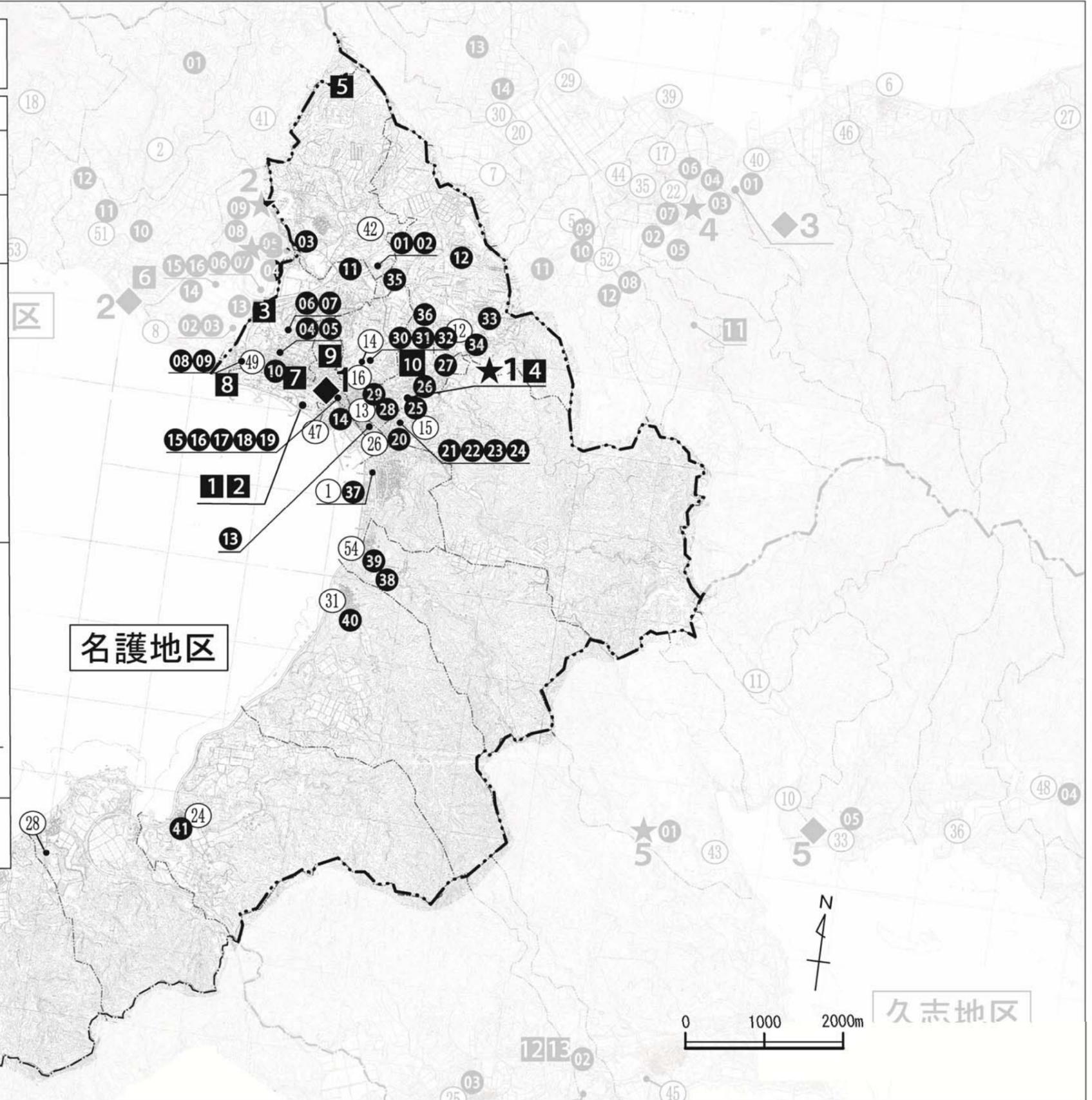
- 1. 名護市民会館
- 2. 名護中央公民館
- 3. 名護市立中央図書館
- 4. 名護市シルバー人材センター
- 5. 北部生涯学習推進センター
- 7. 21世紀の森体育施設
- 8. あけみおSKYドーム
- 9. 名護市宮陸上競技場
- 10. 名護市B & G海洋センタープール

○:区公民館

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 東江地区会館         | 26. 城区公民館         |
| 12. 大北地域力発信興隆拠点施設 | 28. 幸喜公民館         |
| 13. 大中区公民館        | 31. 数久田地区会館       |
| 14. 大西コミュニティセンター  | 42. 為又集落センター      |
| 15. 大東体験学習施設      | 47. 港区公民館         |
| 16. 大南区公民館        | 49. 宮里区公民館        |
| 23. 喜瀬交流プラザ       | 54. 世富慶コミュニティセンター |
| 24. 許田区コミュニティセンター |                   |

●:介護保険サービス事業所

(前頁リスト参照)





## 2

## 屋部地区

### ■ 現 状

#### ○地区人口（平成 29 年 10 月 1 日）

- ・総人口 11,273 人（対全市比 18.0%）
- ・年少人口 2,162 人（対地区人口比 19.2%）
- ・生産年齢人口 7,362 人（対地区人口比 65.3%）
- ・老年人口 1,749 人（対地区人口比 15.5%）
  - ・前期高齢者 952 人（対地区人口比 8.4%）
  - ・後期高齢者 797 人（対地区人口比 7.1%）

#### ○地区世帯数（平成 29 年 10 月 1 日）

- ・総世帯数 5,343 世帯（対全市比 18.4%）
- ・高齢単身世帯 533 世帯（対地区世帯比 10.0%）
- ・高齢者のみの世帯 281 世帯（対地区世帯比 5.3%）単身高齢者世帯のぞく
- ・高齢者のいる世帯 1,244 世帯（対地区世帯比 23.3%）

#### ○介護認定者数等（平成 29 年 10 月 1 日）

- ・介護認定者総数 349 人
- ・第 1 号被保険者数 332 人（地区の 65 歳以上人口(1,749 人)に占める割合 19.0%）
- ・第 2 号被保険者数 17 人（地区の 40～64 歳人口(3,329 人)に占める割合 0.5%）

#### ○地域社会の状況（平成 29 年 4 月 1 日）（社会資源について後頁資源マップ参照）

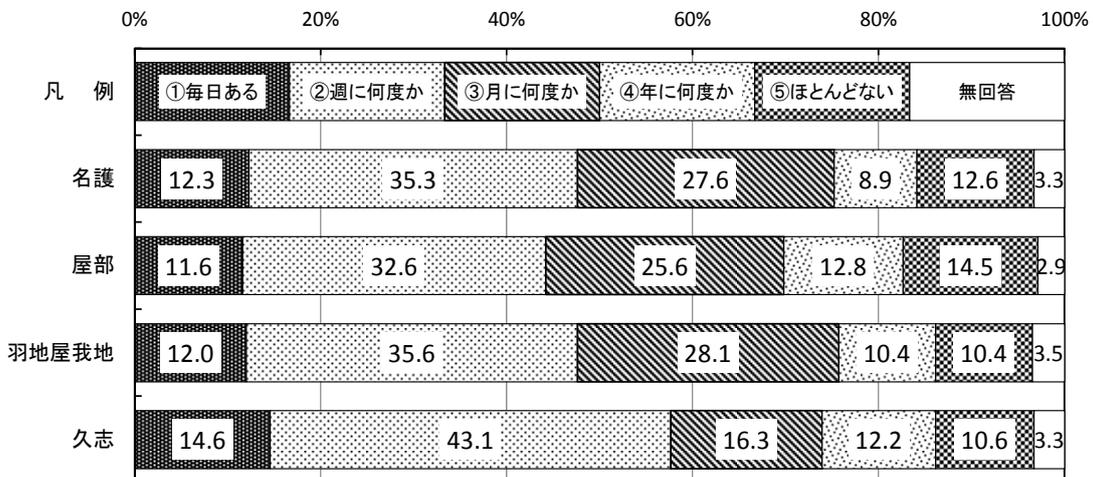
- ・区数 7 区
- ・区加入率 28.9%
- ・区福祉推進委員会設置数 7 箇所
- ・ミニデイサービス実施箇所数 7 箇所

#### ○地域の高齢者の実態（平成 28 年度日常生活圏域ニーズ調査結果より）

※ニーズ調査対象者は、一般高齢者、要支援 1、2 の方

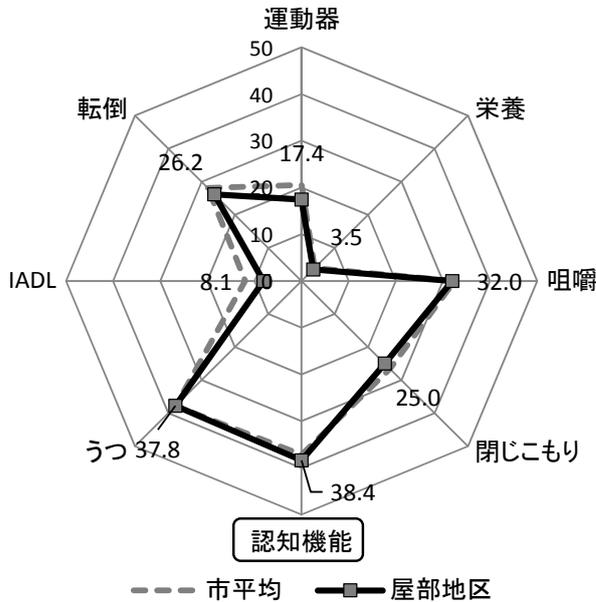
##### <友人知人と会う頻度について>

- ・44.2%が『週に何度か』（①毎日+②週に何度か）友人知人と会っている。
- 一方、27.3%が『会う頻度はわずか』（④年に何度か+⑤ほとんどない）と回答している。



<生活機能評価結果 領域別リスク者割合>

- ・介護予防事業が必要と思われるリスクの高い高齢者の割合は、認知機能を除いて市平均を下回っているか、市平均値となっている。
- ・領域別にリスク者の割合をみると、認知機能、うつのリスク者割合が4割弱と高く、次いで咀嚼が3割強、転倒と閉じこもりが3割弱となっている。



領域	市平均	屋部地区
運動器	20.5	17.4
栄養	3.9	3.5
咀嚼	32.5	32.0
閉じこもり	26.6	25.0
認知機能	37.2	38.4
うつ	37.8	37.8
IADL	12.0	8.1
転倒	28.1	26.2

<高齢者の社会との関わり等>

- ・高齢者の社会との関わりについては、自治会（区）への参加状況が市全体よりもやや高くなっている。そのほかの活動への参加状況等については、概ね市全体と同様の参加割合かわずかに上回る結果となっている。
- ・住まいについて、集合住宅や公営賃貸住宅へ居住する人の割合は16.3%となっており、名護地区に次いで高く、市全体（13.9%）よりも若干上回っている。
- ・土地区画整理地区内では宅地化が進み局地的な人口増が見られるとともに、高齢者人口の増加率も高くなっている。

■屋部地区

(単位:%)

項目	市全体	屋部
ボランティアのグループに参加している高齢者の割合	12.4	12.9
スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	18.7	18.0
趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	22.6	23.2
学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	7.6	8.6
老人クラブに参加している高齢者の割合	21.0	21.4
自治会に参加している高齢者の割合	15.5	19.8
地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	56.7	61.0
主観的健康観の高い高齢者の割合	69.0	71.5
主観的幸福観の高い高齢者の割合(8点以上)	44.6	49.4

## ■ 計 画

### ○高齢者人口等の将来推計（参考）

屋部地区	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	2025(H37)
・人口	11,273	11,286	11,307	11,323	11,337
・65歳以上人口	1,749	1,806	1,869	1,916	2,139
・65～74歳人口	952	983	1,017	1,043	1,164
・75歳以上人口	797	823	852	873	975
・要介護(要支援)認定者	349	360	379	401	462

※将来推計は、平成29年の市に占める地区人口等の割合で算出。

### ○日常生活圏域等での取り組み内容

#### 1. 生き生き暮らす

- ①介護予防活動が必要な心身機能の低下がみられる高齢者を早期に把握し、介護予防活動につなげるために、地域包括支援センター、在宅介護支援センターによる訪問活動や相談対応を通して、また区福祉推進委員会や民生委員等の地域活動より介護予防が必要な高齢者を把握する。
- ②市民が継続的に健康づくり活動に取り組めるよう、区公民館等身近な地域での健康教室やスポーツ教室について、区等地域主体での開催を支援する。
- ③生きがい活動に取り組む住民等を市民に広く紹介し、地域のニーズに即した新しい取り組みの創出を促進する。
- ④いきいき百歳体操、高齢者体操教室、願寿教室等の予防事業をさらに普及し、身近な所での実施拡充を目指す。

#### 2. 安心して暮らす

- ①高齢者に身近な地域（支所や区公民館等）で介護予防事業を推進する。
- ②圏域レベルでの認知症対策を推進するために、支所や区公民館等での認知症予防教室の開催や区単位での認知症見守り体制の確保を図る。
- ③地域密着型サービスは、地域ニーズ等に応じて検討し、計画的に確保する。

#### 3. 共に支え合い暮らす

- ①相談、支援、関係者連携の拠点となる「在宅介護支援センター」の機能充実を進める。
- ②区福祉推進委員会を中心に区単位での支え合い体制の充実を図る。そのために、地域人材の育成・確保を進めるとともに、社会福祉協議会コーディネーターとの連携を強化するとともに、区未加入者との交流を促進する。
- ③地域包括支援センター、在宅介護支援センター等で行っている訪問活動や健康増進課の地域での保健相談等を通じて、専門職による地域での相談対応の充実を図る。
- ④個別支援の対応から地域課題の集約等を行う「地域ケア圏域別会議」の設置を進める。

■介護サービス事業所一覧（沖縄県内指定介護サービス事業所一覧（平成29年10月1日時点）県HP）

屋部地区

地図番号	事業所住所	事業所名
1	通所介護	通所介護事業所 デイサービス シャローム名護
	介護予防通所介護	通所介護事業所 デイサービス シャローム名護
2	訪問介護	北部ケアサービス
	居宅介護支援	北部ケアサービス
	介護予防訪問介護	北部ケアサービス
3	介護予防通所介護	北部ケア通所介護事業所
4	短期入所生活介護	かりゆしぬ村ショートステイアンジェラ
	介護予防短期入所生活介護	かりゆしぬ村ショートステイアンジェラ
5	訪問介護	ケアパートナーおきなわ
	介護予防訪問介護	ケアパートナーおきなわ
6	訪問介護	やんばるヘルパーステーション
	介護予防訪問介護	やんばるヘルパーステーション
	介護予防通所介護	医療法人タビック デイサービスやんばる
	居宅介護支援	沖縄ケアサポートセンターやんばる
7	居宅介護支援	ふたば 居宅介護支援事業所
8	介護療養型医療施設	医療法人タビック宮里病院
9	介護予防短期入所生活介護	かりゆしぬ村 介護予防短期入所生活介護事業所
	介護予防通所介護	かりゆしぬ村指定介護予防通所介護事業所
	居宅介護支援	かりゆしぬ村指定居宅介護支援事業所
	通所介護	かりゆしぬ村指定通所介護事業所
	訪問介護	かりゆしぬ村指定訪問介護事業所
	介護予防訪問介護	かりゆしぬ村指定訪問介護事業所
	訪問看護	かりゆしぬ村指定訪問看護ステーション
	介護予防訪問看護	かりゆしぬ村指定訪問看護ステーション
短期入所生活介護	かりゆしぬ村短期入所生活介護事業所	
10	居宅介護支援	三つ葉のクローバー居宅介護支援事業所
11	居宅介護支援	りゅうしん指定居宅介護支援事業所
	訪問介護	りゅうしん指定訪問介護事業所
	介護予防訪問介護	りゅうしん指定訪問介護事業所
	介護予防訪問看護	りゅうしん訪問看護ステーション
12	居宅介護支援	沖縄県農業協同組合 北部居宅介護支援事業所
	訪問介護	沖縄県農業協同組合 北部訪問介護事業所
	介護予防訪問介護	沖縄県農業協同組合 北部訪問介護事業所
	介護予防通所介護	JAおきなわ 北部デイサービスセンター
	通所介護	JAおきなわ北部デイサービスセンター
13	通所介護	デイサービスうむさの森
	介護予防通所介護	デイサービスうむさの森
14	居宅介護支援	居宅介護支援事業所がゆまーる
15	福祉用具貸与	トータル介護沖縄 名護営業所
	特定福祉用具販売	トータル介護沖縄 名護営業所
	介護予防福祉用具貸与	トータル介護沖縄 名護営業所
	特定介護予防福祉用具販売	トータル介護沖縄 名護営業所
16	居宅介護支援	ライフ居宅介護支援事業所

# 屋部地区社会資源マップ

## 凡 例

◆:市役所、支所

2. 屋部支所

★:地域包括支援センター、在宅介護支援センター

2. 在宅介護支援センター かりゆしぬ村

3. 在宅介護支援センター みやざと

■:生涯学習・スポーツ施設

6. 名護市スポーツリハビリテーションセンター

○:区公民館

2. 旭川高齢者・若者活性化センター

41. 中山地区会館

4. 安和コミュニティセンター

51. 屋部公民館

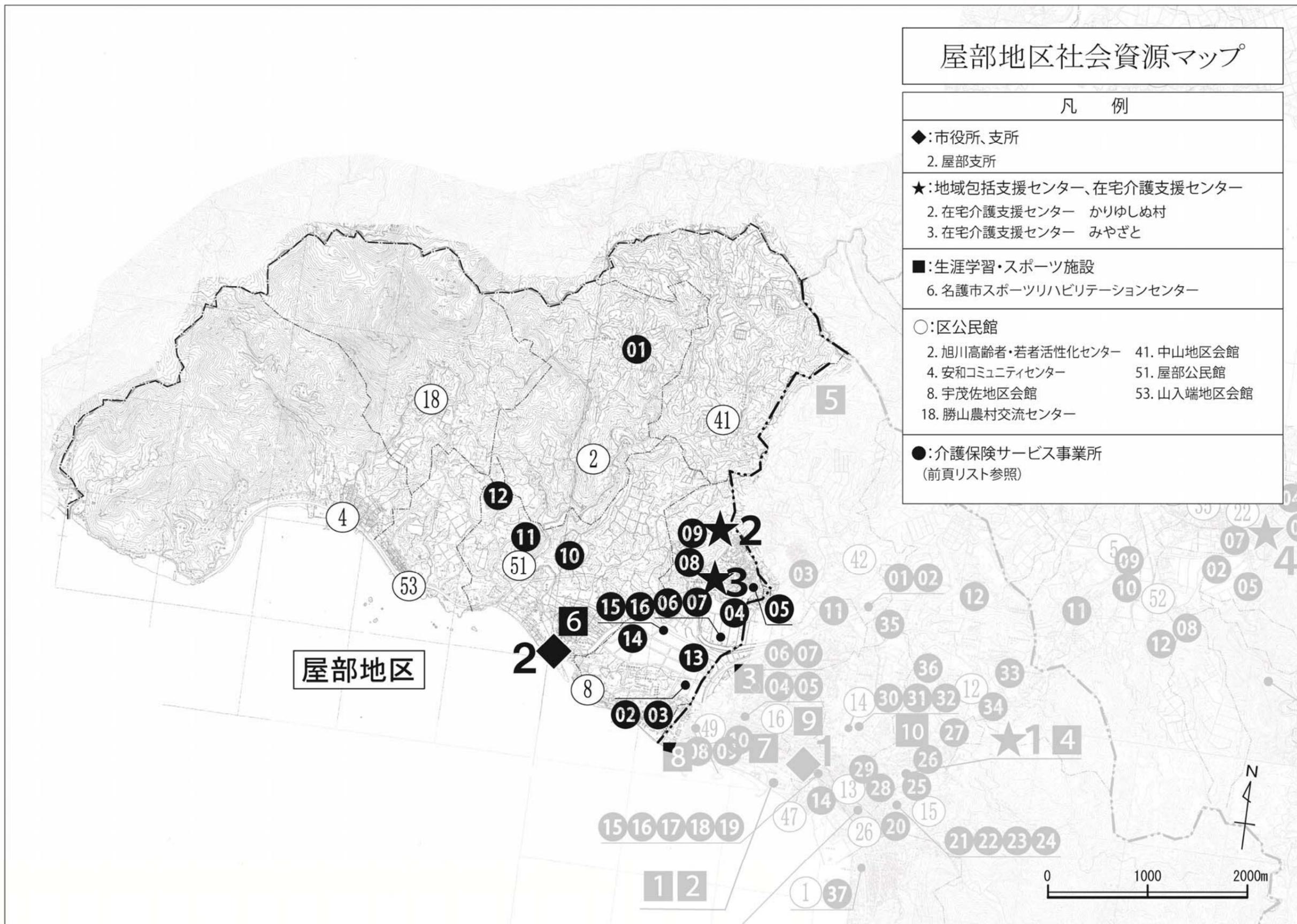
8. 宇茂佐地区会館

53. 山入端地区会館

18. 勝山農村交流センター

●:介護保険サービス事業所

(前頁リスト参照)



屋部地区



### 3

## 羽地・屋我地地区

### ■ 現 状

#### ○地区人口（平成 29 年 10 月 1 日）

- ・総人口 10,528 人（対全市比 16.8%）
- ・年少人口 1,550 人（対地区人口比 14.7%）
- ・生産年齢人口 5,858 人（対地区人口比 55.6%）
- ・老年人口 3,120 人（対地区人口比 29.6%）
  - ・前期高齢者 1,453 人（対地区人口比 13.8%）
  - ・後期高齢者 1,667 人（対地区人口比 15.8%）

#### ○地区世帯数（平成 29 年 10 月 1 日）

- ・総世帯数 4,714 世帯（対全市比 16.2%）
- ・高齢単身世帯 986 世帯（対地区世帯比 20.9%）
- ・高齢者のみの世帯 523 世帯（対地区世帯比 11.1%） 単身高齢者世帯のぞく
- ・高齢者のいる世帯 2,234 世帯（対地区世帯比 47.4%）

#### ○介護認定者数等（平成 29 年 10 月 1 日）※は愛楽園入所者数を除いた人数

- ・介護認定者総数 644 人
- ・第 1 号被保険者数 627 人（地区の 65 歳以上人口（※2,969 人）に占める割合 21.1%）
- ・第 2 号被保険者数 17 人（地区の 40～64 歳人口（※3,353 人）に占める割合 0.5%）

#### ○地域社会の状況（平成 29 年 4 月 1 日）（社会資源について後頁資源マップ参照）

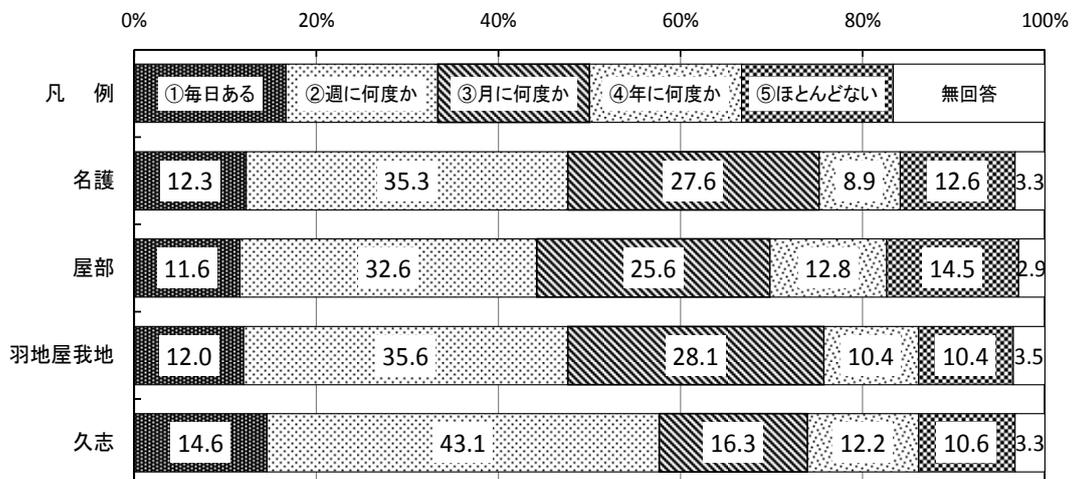
- ・区数 20 区
- ・区加入率 64.2%
- ・区福祉推進委員会設置数 20 箇所
- ・ミニデイサービス実施箇所数 19 箇所

#### ○地域の高齢者の実態（平成 28 年度日常生活圏域ニーズ調査結果より）

※ニーズ調査対象者は、一般高齢者、要支援 1、2 の方

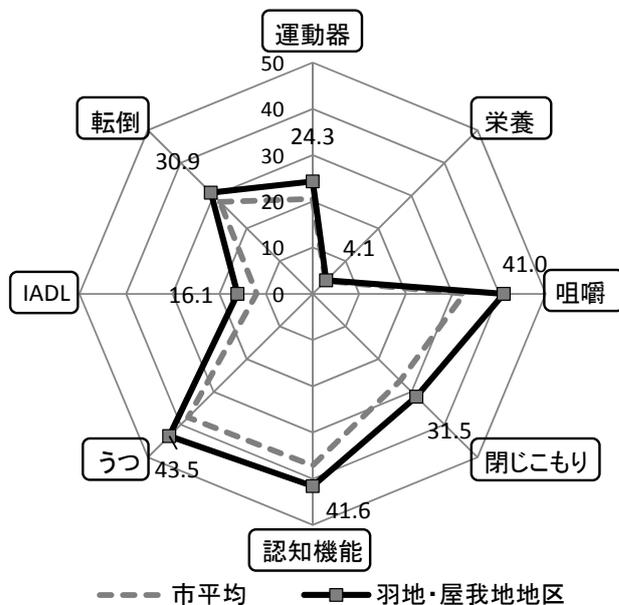
##### <友人知人と会う頻度について>

- ・47.6%が『週に何度か』（①毎日+②週に何度か）友人知人と会っている。
- 一方、20.8%が『会う頻度はわずか』（④年に何度か+⑤ほとんどない）と回答している。



### <生活機能評価結果 領域別リスク者割合>

- ・介護予防事業が必要と思われるリスクの高い高齢者の割合をみると、高齢化率も高い地区でもあることからすべての領域で市平均を上回っている。
- ・領域別にリスク者の割合をみると、咀嚼、認知機能やうつなどが4割強を占め、次いで閉じこもりや転倒が3割程度となっており、介護予防の強化が求められる。



領域	市平均	羽地・屋我地区
運動器	20.5	24.3
栄養	3.9	4.1
咀嚼	32.5	41.0
閉じこもり	26.6	31.5
認知機能	37.2	41.6
うつ	37.8	43.5
IADL	12.0	16.1
転倒	28.1	30.9

### <高齢者の社会との関わり等>

- ・後期高齢者の割合が他地区に比べ高いことから、主観的健康観や幸福観の高い高齢者がそれぞれ市全体よりも約5ポイント低い状況にある。
- ・後期高齢者の割合が他地区よりも高いものの、地域活動への参加状況は市全体の平均と同様の値と参加率は低くなく、地域づくりへの参加意向のある高齢者も半数をやや上回る56.1%となっている。

#### ■羽地・屋我地区

(単位: %)

項目	市全体	羽地屋我地
ボランティアのグループに参加している高齢者の割合	12.4	15.2
スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	18.7	18.7
趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	22.6	22.4
学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	7.6	7.2
老人クラブに参加している高齢者の割合	21.0	22.6
自治会に参加している高齢者の割合	15.5	18.2
地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	56.7	56.1
主観的健康観の高い高齢者の割合	69.0	64.4
主観的幸福観の高い高齢者の割合(8点以上)	44.6	39.2

## ■ 計 画

### ○高齢者人口等の将来推計（参考）

羽地・屋我地地区	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	2025(H37)
・人口	10,373	10,385	10,405	10,419	10,432
・65歳以上人口	2,969	3,066	3,173	3,253	3,632
・65～74歳人口	1,431	1,478	1,529	1,568	1,750
・75歳以上人口	1,538	1,588	1,644	1,685	1,881
・要介護(要支援)認定者	644	664	699	739	852

※将来推計は、平成29年の市に占める地区人口等の割合で算出。愛楽園人口は除く。

### ○日常生活圏域等での取り組み内容

#### 1. 生き生き暮らす

- ①市民が継続的に健康づくり活動に取り組めるよう、区公民館等身近な地域での健康教室やスポーツ教室について、区等地域主体での開催を支援する。
- ②生きがい活動に取り組む住民等を市民に広く紹介し、地域のニーズに即した新しい取り組みの創出を促進する。
- ③高齢者や住民の介護予防への関心が高まるよう、各種教室、講座の開催などを通じて、介護予防に関する知識や情報、介護予防の必要性の普及に取り組む。
- ④市街地から遠い地域の高齢者の買い物等の利便性の向上を図るため、買い物弱者支援事業等を進める。交通手段がなく地域の通いの場、介護予防事業等に参加できない高齢者の活動機会や活動の範囲を拡充するため、移動支援（訪問型D）の検討を行う。
- ⑤いきいき百歳体操、高齢者体操教室、願寿教室等の予防事業をさらに普及し、身近な所での実施拡充を目指す。
- ⑥高齢者交流サロン（通所型B）が身近な通いの場として充実するよう、利用を促進する。

#### 2. 安心して暮らす

- ①高齢者に身近な地域（支所や区公民館等）で介護予防事業を推進する。
- ②圏域レベルでの認知症対策を推進するために、支所や区公民館等での認知症予防教室の開催や区単位での認知症見守り体制の確保を図る。身近な地域で認知症予防等に関しての普及啓発を図るために、支所や区公民館等での認知症予防教室（もの忘れ予防教室等）を開催する。
- ③地域密着型サービスは、地域ニーズ等に応じて検討し、計画的に確保する。

#### 3. 共に支え合い暮らす

- ①相談支援、関係者連携の拠点となる「在宅介護支援センター」の充実を進める。
- ②区福祉推進委員会を中心に区単位での支え合い体制の充実を図る。そのために、地域人材の育成・確保を進めるとともに、社会福祉協議会コーディネーターとの連携を強化する。
- ③個別支援の対応から地域課題の集約等を行う「地域ケア圏域別会議」の設置を進める。

■介護サービス事業所一覧（沖縄県内指定介護サービス事業所一覧（平成29年10月1日時点）県HP）

羽地・屋我地地区

地図番号	事業所住所	事業所名
1	福祉用具貸与	介護ショップ ぶくしま
	特定福祉用具販売	介護ショップ ぶくしま
	介護予防福祉用具貸与	介護ショップ ぶくしま
	特定介護予防福祉用具販売	介護ショップ ぶくしま
2	地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	指定地域密着型介護老人福祉施設 瑞穂の郷
	介護予防短期入所生活介護	指定介護予防短期入所生活介護事業所 瑞穂の郷
	介護予防通所介護	指定介護予防通所介護事業所 瑞穂の郷
	居宅介護支援	指定居宅介護支援事業所 瑞穂の郷
	短期入所生活介護	指定短期入所生活介護事業所 瑞穂の郷
3	訪問介護	わかば 訪問介護支援事業所
	介護予防訪問介護	わかば 訪問介護支援事業所
	居宅介護支援	わかば居宅介護支援事業所
4	居宅介護支援	トータル リハビリ・ケア サービス ゆらぎ居宅介護支援事業所
	訪問介護	トータル リハビリ・ケア サービス ゆらぎ訪問介護事業所
	介護予防訪問介護	トータル リハビリ・ケア サービス ゆらぎ訪問介護事業所
	通所介護	名護リハビリケアセンター
	介護予防通所介護	名護リハビリケアセンター
5	通所介護	指定通所介護事業所 まごころのデイサービス
	介護予防通所介護	指定通所介護事業所 まごころのデイサービス
6	訪問介護	ヘルパーステーション ひびき
	介護予防訪問介護	ヘルパーステーション ひびき
7	居宅介護支援	ケアプランセンターみやび
	訪問介護	ヘルパーステーションみやび
	介護予防訪問介護	ヘルパーステーションみやび
	訪問型サービス（独自）	ヘルパーステーションみやび
8	訪問介護	居宅介護サービス事業所 まごころ
	介護予防訪問介護	居宅介護サービス事業所 まごころ
	居宅介護支援	居宅介護支援事業所まごころ
9	訪問介護	ケアパートナー こころ
	介護予防訪問介護	ケアパートナー こころ
10	福祉用具貸与	介護福祉用具貸与販売事業所〃匠
	特定福祉用具販売	介護福祉用具貸与販売事業所〃匠
	介護予防福祉用具貸与	介護福祉用具貸与販売事業所〃匠
	特定介護予防福祉用具販売	介護福祉用具貸与販売事業所〃匠
11	居宅介護支援	名護居宅介護支援事業所
12	認知症対応型共同生活介護	グループホームこころの里
	介護予防認知症対応型共同生活介護	グループホームこころの里
13	介護予防通所介護	デイサービス 稲田
14	居宅介護支援	羽地苑居宅介護支援事業所
	短期入所生活介護	羽地苑短期入所生活介護事業所
	介護予防短期入所生活介護	羽地苑短期入所生活介護事業所
	通所介護	社会福祉法人翠泉会 羽地苑通所介護事業所
	介護予防通所介護	社会福祉法人翠泉会 羽地苑通所介護事業所
15	介護予防通所介護	デイサービスやがじ
16	介護予防通所介護	デイサービス 美和の里

# 羽地・屋我地地区

## 羽地・屋我地地区社会資源マップ

- 凡 例
- ◆:市役所、支所  
3. 羽地支所 4. 屋我地支所
  - ★:地域包括支援センター、在宅介護支援センター  
4. 在宅介護支援センター 瑞穂の郷
  - :生涯学習・スポーツ施設  
11. 羽地ダム多目的広場 田井等1017番地8
  - :区公民館  
5. 伊差川地区会館 32. 済井出集落センター  
6. 稲嶺集落センター 35. 田井等地区会館  
7. 内原地区会館 39. 仲尾集落センター  
9. 運天原地域力発信交流拠点施設 40. 仲尾次公民館  
17. 親川地区会館 44. 振慶名区農村集落センター  
19. 我部公民館 46. 真喜屋集落センター  
20. 我部祖河地区会館 50. 屋我集落センター  
22. 川上集落センター 52. 山田集落センター  
27. 源河地区会館 55. 饒平名集落センター  
29. 呉我集落センター  
30. 古我知地区会館
  - :介護保険サービス事業所  
(前頁リスト参照)





# 4

## 久志地区

### ■ 現 状

#### ○地区人口（平成 29 年 10 月 1 日）

- ・総人口 4,430 人（対全市比 7.1%）
- ・年少人口 557 人（対地区人口比 12.6%）
- ・生産年齢人口 2,734 人（対地区人口比 61.7%）
- ・老年人口 1,139 人（対地区人口比 25.7%）
  - ・前期高齢者人口 542 人（対地区人口比 12.2%）
  - ・後期高齢者人口 597 人（対地区人口比 13.5%）

#### ○地区世帯数（平成 29 年 10 月 1 日）

- ・総世帯数 2,452 世帯（対全市比 8.4%）
- ・高齢単身世帯 391 世帯（対地区世帯比 15.9%）
- ・高齢者のみの世帯 182 世帯（対地区世帯比 7.4%） 単身高齢者世帯のぞく
- ・高齢者のいる世帯 840 世帯（対地区世帯比 34.3%）

#### ○介護認定者数等（平成 29 年 10 月 1 日）

- ・介護認定者総数 217 人
- ・第 1 号被保険者数 215 人（地区の 65 歳以上人口(1,139 人)に占める割合 18.9%）
- ・第 2 号被保険者数 2 人（地区の 40～64 歳人口(1,190 人)に占める割合 0.2%）

#### ○地域社会の状況（平成 29 年 4 月 1 日）（社会資源について後頁資源マップ参照）

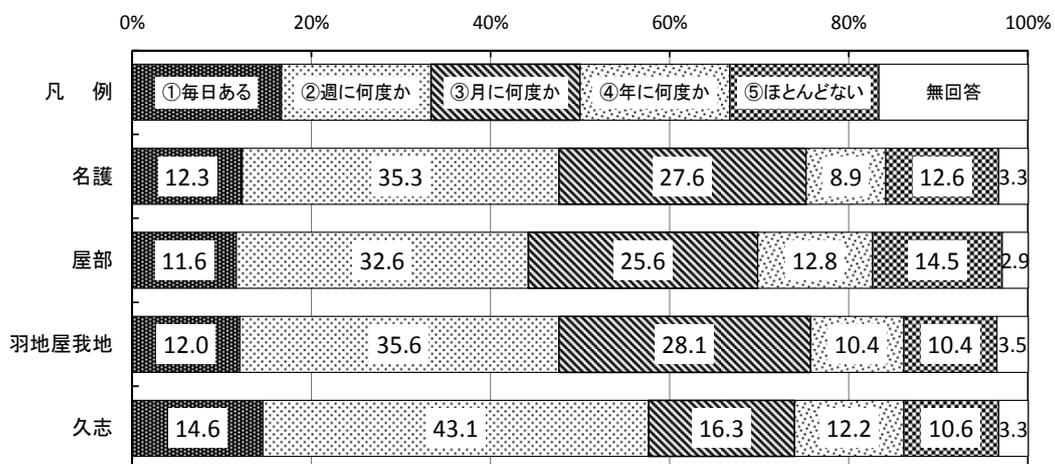
- ・区数 13 区
- ・区加入率 53.1%
- ・区福祉推進委員会設置数 13 箇所
- ・ミニデイサービス実施箇所数 12 箇所

#### ○地域の高齢者の実態（平成 28 年度日常生活圏域ニーズ調査結果より）

※ニーズ調査対象者は、一般高齢者、要支援 1、2 の方

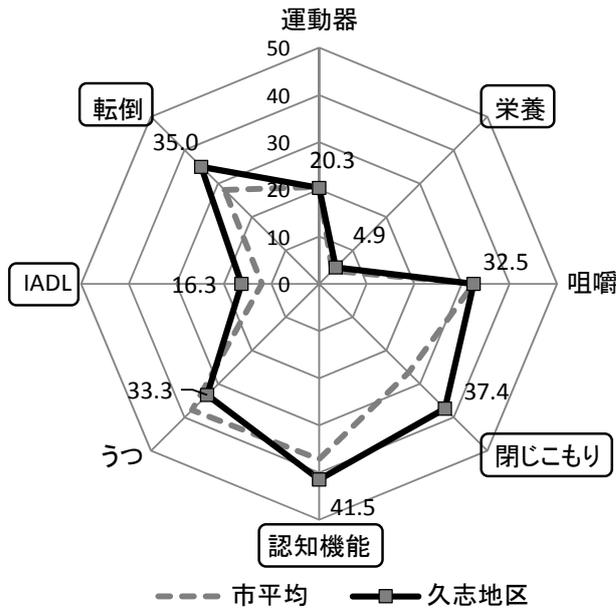
##### <友人知人と会う頻度について>

- ・半数を超える 57.7%が『週に何度か』（①毎日+②週に何度か）友人知人と会っている。一方、22.8%が『会う頻度はわずか』（④年に何度か+⑤ほとんどない）と回答している。



<生活機能評価結果 領域別リスク者割合>

- ・介護予防事業が必要と思われるリスクの高い高齢者の割合は、運動器、うつ以外の領域で市平均よりも上回っているか、市平均値となっている。
- ・領域別にリスク者の割合をみると、後期高齢者も多い地区であることから、認知機能が4割強と高く、次いで閉じこもり、転倒が4割弱、うつ、咀嚼が3割強と高い。特に、認知機能の維持増進や閉じこもり対策、転倒予防対策が求められる。



領域	市平均	久志地区
運動器	20.5	20.3
栄養	3.9	4.9
咀嚼	32.5	32.5
閉じこもり	26.6	37.4
認知機能	37.2	41.5
うつ	37.8	33.3
IADL	12.0	16.3
転倒	28.1	35.0

<高齢者の社会との関わり等>

- ・他地区に比べ老人クラブや自治会(区)の地域に参加している高齢者の割合が高い一方、趣味関係のグループに参加している割合がやや低くなっている。老人クラブや自治会(区)の自主的な地域活動に対する支援を通して、身近な所での生きがいつくりや介護予防につなげていく必要がある。

■久志地区

(単位: %)

項目	市全体	久志
ボランティアのグループに参加している高齢者の割合	12.4	12.2
スポーツ関係のグループやクラブに参加している高齢者の割合	18.7	22.1
趣味関係のグループに参加している高齢者の割合	22.6	14.7
学習・教養サークルに参加している高齢者の割合	7.6	8.9
老人クラブに参加している高齢者の割合	21.0	37.3
自治会に参加している高齢者の割合	15.5	23.5
地域づくりへの参加意向のある高齢者の割合	56.7	57.7
主観的健康観の高い高齢者の割合	69.0	70.7
主観的幸福観の高い高齢者の割合(8点以上)	44.6	52.1

## ■ 計 画

### ○高齢者人口等の将来推計（参考）

久志地区	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020(H32)	2025(H37)
・人口	4,430	4,435	4,443	4,450	4,455
・65歳以上人口	1,139	1,176	1,217	1,248	1,393
・65～74歳人口	542	560	579	594	663
・75歳以上人口	597	616	638	654	730
・要介護(要支援)認定者	217	224	235	249	287

※将来推計は、平成29年の市に占める地区人口等の割合で算出。

### ○日常生活圏域等での取り組み内容

#### 1. 生き生き暮らす

- ①市民が継続的に健康づくり活動に取り組めるよう、区公民館等身近な地域での健康教室やスポーツ教室について、区等地域主体での開催を支援する。
- ②生きがい活動に取り組む住民等を市民に広く紹介し、地域のニーズに即した新しい取り組みの創出を促進する。
- ③いきいき百歳体操、高齢者体操教室、願寿教室等の予防事業をさらに普及し、身近な所での実施拡充を目指す。
- ④高齢者交流サロン（通所型B）が身近な通いの場として充実するよう、利用を促進する。
- ⑤生活機能を改善するための運動器の機能向上や栄養改善等事業、口腔機能向上事業（短期集中予防サービス（通所型C））について、自立生活を支援するために、高齢者等のニーズを踏まえた取り組みを進める。
- ⑥市街地から遠い地域の高齢者の買い物等の利便性の向上を図るため、買い物弱者支援事業等を進める。

#### 2. 安心して暮らす

- ①高齢者に身近な地域（支所や区公民館等）で介護予防事業を推進する。
- ②圏域レベルでの認知症対策を推進するために、支所や区公民館等での認知症予防教室の開催や区単位での認知症見守り体制の確保を図る。
- ③地域密着型サービスは、地域ニーズ等に応じて検討し、計画的に確保する。

#### 3. 共に支え合い暮らす

- ①相談、支援、関係者連携の拠点となる「在宅介護支援センター」の充実を進める。
- ②区福祉推進委員会を中心に区単位での支え合い体制の充実を図る。そのために、地域人材の育成・確保を進めるとともに、社会福祉協議会コーディネーターとの連携を強化する。
- ③個別支援の対応から地域課題の集約等を行う「地域ケア圏域別会議」の設置を進める。

■介護サービス事業所一覧(沖縄県内指定介護サービス事業所一覧(平成 29 年 10 月 1 日時点)県 HP より)

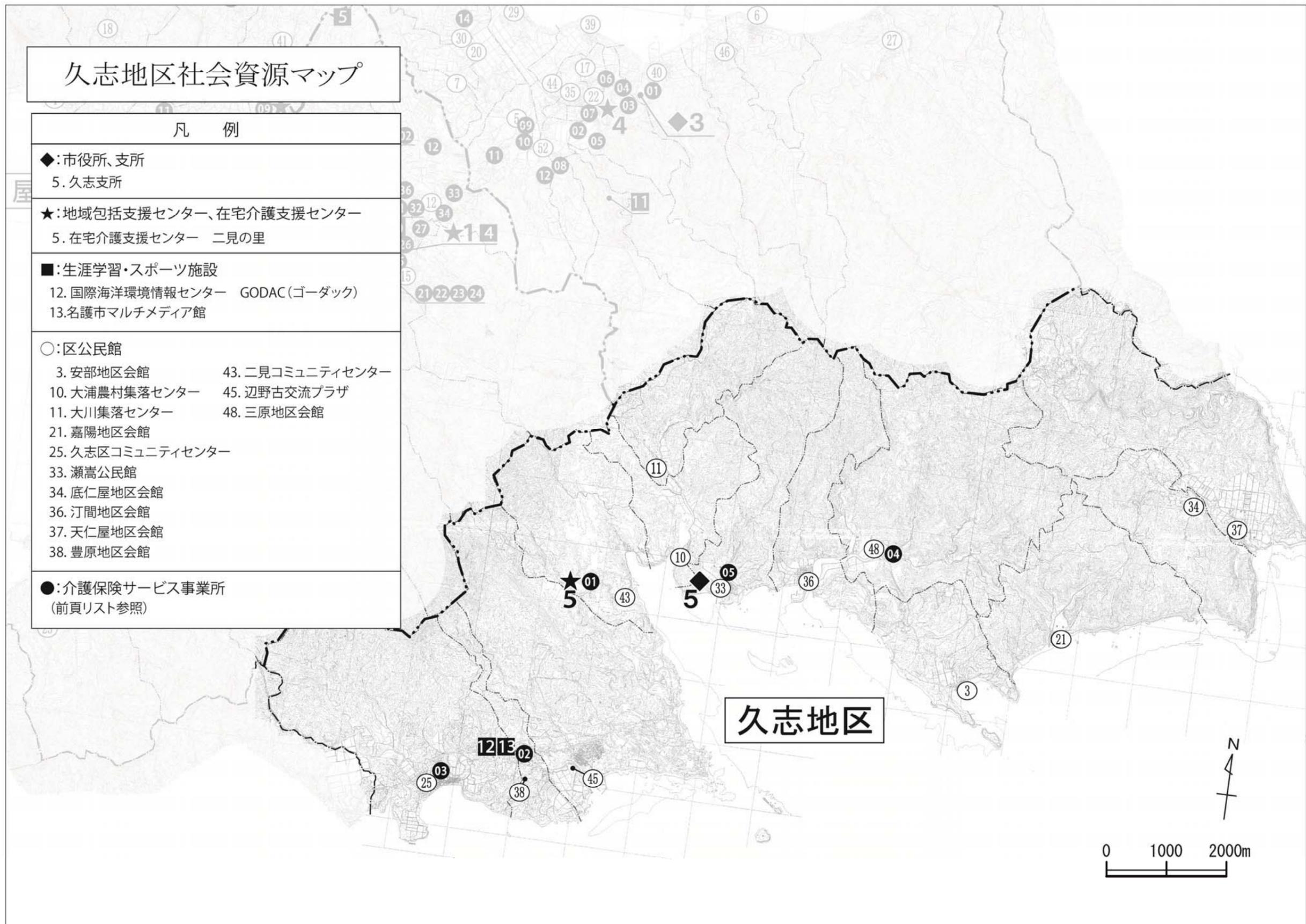
久志地区

地図番号	事業所住所	事業所名
1	訪問介護	ヘルパーステーションふたみ
	介護予防訪問介護	ヘルパーステーションふたみ
	居宅介護支援	二見の里居宅介護支援事業所
	通所介護	二見の里通所介護事業所
	介護予防通所介護	二見の里通所介護事業所
2	訪問介護	訪問介護ふくらしや
	介護予防訪問介護	訪問介護ふくらしや
3	認知症対応型共同生活介護	グループホーム いがしま
	介護予防認知症対応型共同生活介護	グループホーム いがしま
4	居宅介護支援	ケアプランセンター久志交じり
5	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護事業所さざなみ

# 久志地区社会資源マップ

## 凡 例

- ◆:市役所、支所  
5. 久志支所
- ★:地域包括支援センター、在宅介護支援センター  
5. 在宅介護支援センター 二見の里
- :生涯学習・スポーツ施設  
12. 国際海洋環境情報センター GODAC(ゴードック)  
13. 名護市マルチメディア館
- :区公民館  
3. 安部地区会館                    43. 二見コミュニティセンター  
10. 大浦農村集落センター      45. 辺野古交流プラザ  
11. 大川集落センター            48. 三原地区会館  
21. 嘉陽地区会館  
25. 久志区コミュニティセンター  
33. 瀬嵩公民館  
34. 底仁屋地区会館  
36. 汀間地区会館  
37. 天仁屋地区会館  
38. 豊原地区会館
- :介護保険サービス事業所  
(前頁リスト参照)



久志地区



## 第6章 計画の推進にあたって

### 1. 本計画の周知と推進体制の強化

本計画の内容は、地域包括ケアシステムや我が事・丸ごとの地域共生社会を目指すため、多分野にわたっていることから、高齢者をはじめ地域の見守り・介護予防活動に関わる方、ボランティア等の各種団体の協働で取り組む必要がある。

このため、本計画については、広報誌、ホームページをはじめ、区長会や民生委員児童委員協議会の定例会などを通して市民へ周知するとともに、地域での活動を促進する。さらには庁内への周知を図り、横断的な推進体制を強化する。

### 2. 計画の進行管理及び評価の充実

本計画の施策・事業の実施状況や評価については、「名護市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」の策定部会、策定時の庁内幹事会に進捗管理・推進の役割を付与し、「(仮称)名護市あけみお福祉プラン推進委員会」として、毎年、それぞれの会に進捗を報告し、PDCAサイクルにより、必要に応じて取り組みの強化や見直し等を進め、市民ニーズに的確に対応したサービスの提供に努める。

また、高齢化が進展する中で、地域包括ケアシステムの深化や制度の持続可能性を維持するためには、保険者が地域の課題を分析して、高齢者が自らの意向にそった自立生活をサポートするための取り組みが必要となっている。

今回、財政的インセンティブの付与について国から提示があり、全市町村が保険者機能を発揮して、自立支援・重度化防止に取り組むよう制度化され、効果的な介護予防やケアマネジメントを市町村が実施した結果を評価し、自治体に財政的支援が行われることとなった。評価等の結果については、ホームページ等を通して公表する。

### 3. 国や県等との連携強化

名護市の保険者機能の強化と円滑な計画の推進のため、介護保険事業所、医療の専門機関、国や県等と連携を強化する。

